

モビリティ利活用WGの今後の進め方

2023年新駅開業をマイルストーン

2021年度に取り組むこと

- ・域内交通の最適化に向けた検討
- ・各団体の課題や資源、ニーズを把握

幕張新都心の全体の課題感

(+モビリティによってもたらされる理想的な姿)



各施設の課題

各エリアの課題

ハードの課題

第1回WG

課題の洗い出し

第2回WG

より具体的に
課題の洗い出し

各施設(団体)における課題

【課題】

- 目的地から次の目的地までの案内がない。● 駅から施設、施設から駅までの行き来のみをしている人が多い。
- 球場までのバスはあるが、海側へのアクセス(交通手段)がない。
- たくさん乗り物はあるが、何があるかわからない状態なので見える化が必要。
- 自社のシャトルバスを走らせているが、コスト面で大きな課題。稼働率を改善させたい。
- 定員数が限られておりシャトルバスに乗れないケースもある。
- 初めてのの方は、シェアサイクルを利用できるか疑問。● 送迎バスは決められた時間しか走れない。



【課題に対する対策・取組み】

- シェアサイクルが2年前に始まってから回遊性が生まれたのではないか。● 歩いて楽しいまちづくりの観点も必要。
- 中心地の駐車場をつなぐ何かソフト的な取組みがあれば回遊性は向上するのではないか。
- 複数施設を回遊できる工夫が必要。● タクシーは費用がやや高いため周遊バス(ハイエースサイズ)があるとよい。
- 防犯対策など安全面の確保も重要。● 来訪者・従業員・居住者の視点から課題分析すべき。
- ヒトだけでなく、モノの輸送により稼働率を高める取組みもある。
- 既存の乗り物の利活用(路線バスのデマンド)に取り組んでいるところもある。
- アプリなどで情報提供、予約の一元化ができるとうい。